

富山市教育委員会会議録

令和元年7月定例会

1 日 時 令和元年7月22日(月曜日)

午後 1時30分 開会

午後 3時20分 閉会

2 場 所 本庁7階 教育委員会室

3 出席委員 教育長 宮口克志
委員 若林啓介
委員 尾畑納子
委員 高田健

4 説明のために出席した者

事務局長	立花宗一
事務局次長(総務・社会教育担当)	酒井秀祐
事務局次長(学校教育担当)	豊田高久
教育総務課長	光岡伸一
統合校整備等推進室長	豊島栄治
学校施設課長	佐伯誠司
学校教育課長	大久保秀俊
学校保健課長	古川安代
生涯学習課長	竹井博文
大山教育行政センター所長	山下浩一
市民学習センター次長	島崎幸仁
民俗民芸村管理センター村長	藤田育寿
教育センター所長	桑谷聡
図書館長	浅野朋之
郷土博物館長	坂森幹浩
ガラス造形研究所事務長	野恒寿

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課主幹(課長代理)	中山武史
教育総務課管理係長	寺井清規
教育総務課主任	中田優子

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

議案第34号 教育委員会事務管理執行状況点検評価報告書(案)について
議案第35号 富山市立富山ガラス造形研究所学則の一部改正について

(2) 報告事項

報告事項17 6月市議会定例会における質問の概要について
報告事項18 学校選択制について

(3) その他

その他10 第35回薬師岳美化行進について
その他11 富山市考古資料館企画展「古代とやまのまじない」
その他12 富山市売薬資料館企画展「おなかのむし」
その他13 富山市郷土博物館企画展「夏休み!神通川をさぐる」
その他14 富山市佐藤記念美術館企画展「富山ゆかりの絵画と工芸品」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、藤井委員が欠席であるが、委員の過半数の出席があるため、
会議は成立している。

【前回会議録について】

[教育長] 6月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【議案第 3 4 号】

- [教育長] 議案第 3 4 号について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長外] (議案第 3 4 号 概要及び基本施策 1 から 3 について説明)
- [尾畑委員] 平成 2 9 年度と平成 3 0 年度を比較すると、確かな学力の定着、豊かな心の育成の施策など、全体的に実績の数値が低下している。様々な支援をされていると思うが、追いつかないくらい支援を必要とする人が増えているのか、それとも支援のあり方と実態に乖離があるのか。
- [学校教育課長] いじめに関しては、学校で小さいいじめも見逃さないよう、小さいさかみや口喧嘩のような事案も今後重大な事案になる可能性があるかと判断し、いじめとしてカウントしているため、小学校・中学校ともに認知件数は大きく増加しているが、粘り強く対応していることで、重大な事案に結び付く件数は非常に少ない。
- スクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーの配置については、年々配置人数を増やしているが、需要も多くなっている。複雑な家庭環境が多く、貧困、虐待といった複雑な事案を学校だけで対応していたものを、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、警察、児童相談所等、多くの機関が関わるようにしているため、件数が増加している。
- スクールサポーターの配置については、特別な支援を必要とする児童生徒が年々増加し、配置要望も年々多くなっており、できる限り対応しているところであるが、引き続き検討していかなければならないと考えている。
- [尾畑委員] スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、警察、児童相談所等が密に連携しないと対応できないような状況に、子どもを取り巻く環境が大きく変わってきているのだろうか。
- [学校教育課長] 専門的な知識を持つスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携することで、子どもや保護者にとって、よりの確な対応をとることができるようにしている。
- [尾畑委員] 私の経験では、カウンセラー等は、個人情報を取り扱うことから、周囲との情報共有をあまり積極的には行わない印象があるが、情報共有に関しては大丈夫か。
- [学校教育課長] スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、学校は、互いに情報共有しながら、密に連携して対応している。
- [若林委員] 学力向上の推進で、学力調査の数値として合計得点の平均点を採用しているが、正規分布しているか気になる。二極分化が起こっていないか、分析を盛り込む必要があるのではないか。

- [学校教育課長] 学力調査では、平均点を用いて全国との比較、県との比較等を行っているが、今後分布の分析についても、検討していきたい。
- [若林委員] 点数の二極分化と、問題行動を起こす児童生徒の増加や、将来的な引きこもりの問題との関連も気になる。今後分析の観点として検討していただければと思う。
- [教育長] 二極化が進んでいるといえる状況であり、習熟度別の少人数指導を取り入れることや、子どもたちの、粘り強く取り組むような非認知能力をどう育てていくかが課題であることを、昨年度から校園長会や研修会で周知しているところである。あらためて今後の参考としたい。
- いじめ防止について、認知件数が小・中学校合わせて200件以上増加しており、対応する時間や回数が増加している。解消率は、年度末で90.8%であるが、3学期に認知されたいじめは、年度末までの解消が難しく、集計として解消率は下がってしまう。1年以内にいじめが解消した率を調べると、解消率は上がると思われるが、早く解決した問題でも、1年後に再発するようなことがないよう、関係者、関係機関との連携を行いながら、対応していきたい。
- [高田委員] ネットいじめが増えていると記載があるが、小学校でも増えているのか。
- [学校教育課長] 携帯電話（スマートフォン）を買い与える年齢が、中3・中学卒業から小6・中1へ、また最近では小3・4と低年齢化している。それに伴ってネットいじめは中学校だけの問題ではなく、小学校にも広がっている。
- [高田委員] いじめの対象は、携帯電話を持っている子どもか。
- [学校教育課長] 携帯電話を持っている子ども同士、お互いにラインでの会話やゲーム内のやりとりの問題でいじめが生じることもあれば、携帯電話を持っていない子どもに対し、からかうといった場合もある。
- [高田委員] 小学生の携帯電話の所持率は。
- [教育センター所長] 毎年教育センターでアンケートを実施しており、平成30年5月の調査では、小学校4年生で3割強、小学校5・6年生で4割強、中学校1年生で半分以上となっている。小学校1年生でも1割程度が携帯電話を所持している。
- [学校教育課長外] (議案第34号 基本施策4から10について説明)
- [若林委員] 特別支援教育の充実に関して、具体的な実績の記載があったほうがよいのではないか。
- [豊田事務局次長] 学校教育課でさわやか相談会を実施しており、平成29年度に84人、平成30年度には98人の相談があった。そのような実績につ

- いて、数値として記載していきたいと思う。
- [尾畑委員] 現状がわかるように、具体的な実績の記載があったほうがよいと思う。
- [学校施設課長外]
[各委員] (議案第34号 基本施策11から14について説明)
質問等なし。
- [生涯学習課長外]
[若林委員] (議案第34号 基本施策15から17について説明)
図書館の来館者数が大幅に増えているということだが、来館者数について記載があったほうがよいのではないか。
- [浅野館長] 来館者数は、平成28年度は62万人、平成29年度は74万人、平成30年度は106万人であった。
- [教育長] 議案第34号全体を通して、質問等はあるか。
- [各委員] 質問等なし。
- [教育長] 議案第34号について、委員からの指摘部分について修正・追加等したもので学識経験者の知見活用を実施するものとし、可決した。

【議案第35号】

- [教育長] 議案第35号について事務局から説明を求める。
- [ガラス造形研究所事務長] (議案第35号について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等はあるか。
- [尾畑委員] 推薦書で、学校等に所属していない場合の取扱いはどうなるのか。
- [ガラス造形研究所事務長] 推薦者名と記載しており、特別に学校等に所属していない場合、会社の代表や恩師からの推薦として取扱うことができるようにしている。
- [若林委員] 英文の様式も準備しているのか。
- [ガラス造形研究所事務長] 英文の様式も研究所で用意している。
- [尾畑委員] 外国語専門学校も推薦を行っているのか。
- [ガラス造形研究所事務長] 外国語専門学校では、開設当初から推薦入試を行っている。
- [教育長] 採決を行う。議案第35号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第35号は原案のとおり可決した。

【報告事項 17】

- [教育長] 報告事項 17 について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項 17 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [高田委員] スクールロイヤー制度について、学校現場における諸問題の対応として、どのようなことが考えられるか。
- [学校教育課長] スクールロイヤー制度は導入していないが、市教育委員会を通じて、市の法務専門監へ相談している事例としては、いじめの問題、教員と保護者のトラブル等の相談実績がある。

【報告事項 18】

- [教育長] 報告事項 18 について事務局から説明を求める。
- [学校教育課長] (報告事項 18 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。

【その他】

- [教育長] その他について事務局から説明を求める。
- [大山教育行政センター所長] (その他 10 について説明)
- [民俗民芸村管理センター村長] (その他 11、その他 12 について説明)
- [郷土博物館長] (その他 13、その他 14 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。

【閉会】

- [教育長] 閉会を宣言する。